

# 流星 草の海

詞 奥田 祐子 曲 原田 文隆

ながれぼしがまたひとつおちてきた くさ  
ひがしのかぜがまたすこしおちてきた くさ

のうみははるかにつづいてるー ながいかげがとお  
のうみはなみだちうたってるー しろいとりがいち

くのびていく くさのうみはあおくつづ  
わ飛んでいく くさのうみはあおくうた

いてるー ねがってもねがってもかなわぬこと  
ってるー しんじてるしんじてるひとのちから

がひとのちからの小ささがやりきれない  
をどんなにふかい哀しみもこえていける

ほらここに立ってごらん まんてんのほしがー ほらきみの  
あした呼ぶかぜがー

すべてにふりそそぐ  
すべてをきしめる  
すべてに吹いてくる  
すべてを抱きしめる

- 1 流星が またひとつ 落ちてきた  
草の海ははるかに 続いている  
長い影が 遠く 伸びていく  
草の海は あおく 続いている  
願っても 願っても 叶わぬことが  
人の力の小ささが やりきれない
- 2 流星が また少し 吹いてきた  
草の海は 波立ち うたってる  
草の海は あおく 歌ってる  
信じてる 信じてる 人の力を  
どんなに深い哀しみも こえていける

- ほら ここに立ってごらん 満天の星が  
ほら 君のすべてに ふりそそぐ  
ほら ここに立ってごらん 満天の星が  
ほら 君のすべてを 抱きしめる
- ほら ここに立ってごらん 明日呼ぶ風が  
ほら 君のすべてに 吹いてくる  
ほら ここに立ってごらん 明日呼ぶ風が  
ほら 君のすべてを 抱きしめる